

虫はかせと子ども達



《埼玉新聞 十月七日(金)で
紹介されました》

朝、タとめつきり秋の気配が感じられるようになってきたが、十月一日(土)「虫のオーケストラ」と題したイベントがさいたま新都心コンコースで催された。国際ロータリークラブ第2770地区さいたま樺ロータリー(小池智修会長)社会奉仕委員会の企画。これは、秋の虫を聴く機会を設けることで、虫の種類やその音色、生態などの知識を子供たちなどに身につけさせ、あわせて環境保全への理解を深めてもらうことが狙い。

会場では、「虫の音当てクイズ」や、昆虫学会(川口)主任研究員の内田香さんによる「虫の相談コーナー」、スズムシ・ウマオイ・クツワムシなどの「虫の音を聴くコーナー」、バイオリン・ピアノ・チェロの三重奏による秋の童謡コンサートなど行われ、運動会の終わった与野愛幼稚園の園児や、通りがかった親子連れなどが耳を傾けていた。

同時に、ロータリーが推進している腎・愛バンクと、ポリオ撲滅の支援基金も行われた。小池会長は「イベントを通し、一人でも多くの方が自然に対する理解を深めてもらいたい」と話した。

全文掲載記事より



虫の声 聞こえるかな?



1等が当たるといいな~



わたしも主役よ!
- スズムシ -



参加賞!!



♪ 道行く人達も 足を止めて・・・♪



腎・アイ、ポリオ撲滅
ありがとうございました
合計62,437円





今週の例会

2005年10月11日(火)第63回
 ■点 鐘 12時30分
 ■例会場 ラフレさいたま
 ■ソング 「奉仕の理想」「四つのテスト」
 ■プログラム主題 外部卓話

次週の例会

2005年10月15・16日第64回
 ■点 鐘
 ■例会場 大宮ソニックシティ
 ■ソング
 ■プログラム主題 地区大会

■例会日 毎週火曜日
 ■例会場 ラフレさいたま
 ■点 鐘 18:30 (第1・3・5)
 12:30 (第2・4)
 ■事務局 さいたま市中央区下落合
 4-14-14-2F



★ 会長挨拶

会長 小池 智修

皆様、今日は。
 秋本さんには、すばらしい歌をありがとうございました。

本日は、挨拶の原稿がないままこちらに来まして大変申し訳ございません。私はここのところ、10月1日の「虫のオーケストラ」に全勢力を向けて動いております。今、特に会場作りに頭を悩ませております。ここ何日か会場に飾ろうと[ススキ]を探しておりますが見つかりません。通常この時期には山や川、土手のどこにでもいっぱいススキを目にすることができたものです。どうも最近では外来種の繁殖が強くススキは土手などの端っこの方に追いやられてしまっているようです。9月23日にスズムシでもと思い川口の道の駅に行きましたら、1m位のススキがなんと1本1,050円で売られていました。ホントにびっくりしました。ご苦勞な事ですが、今内田さんにお願ひしまして探してもらっています。石川さんにも柿の木など提供していただきますが、虫の音が心地よい会場に飾りあげたいものです。

『天高く馬肥ゆる秋』ですね。当然本日の食事も皆さんおいしくいただけだと思います。この時期空気がとってもさわやかで食事がすすんで馬が太る、太って健康になるということかなーと思っていました。しかし本来は、夏の間青草を食べて元氣回復した馬にまたがり、西方から強敵が攻めてくるから気を付けろという、遊牧民族の略奪に悩まれた昔の中国のことわ

ざでした。

また、『風吹けば桶屋が儲かる』ということわざですが、ただ単に風吹けば桶屋が儲かるとはありませんでした。由来は 風が吹くと土埃が目に入り目の病気になる人が増え、目の見えない人の使う三味線の需要が増え、三味線の材料になる猫の皮が必要になり、結果ねずみが増えて桶がけられ桶屋が儲かると言った具合です。でも実際は風が吹くと空気が乾燥し、桶に使われている木が乾いてたがが外れてしまい、使い物にならなくなってしまうので桶屋が儲かると言った具合のようです。

では、今日はこのへんで。有難うございました。

★ 幹事報告

幹事 三上等

- 1、役員・理事会報告の件
 - 国際交流（韓国蔚山第一RC）について
 - ・・11月中旬にフレンドクラブとして訪問する
 - 青少年交換プログラムについて
 - ・・次年度に向けて準備に入る
 - 10月～12月のプログラムについて
 - 米国ハリケーン（カリナ）災害援助金について
 - 他クラブ記念例会お祝い金について
 - カムリーバンクの振込みについて
 - ・・10,000円を今月中に振込む
 - ロータリー情報研修会について
 - 虫のオーケストラの最終確認について
- 2、「地区指導者育成セミナー」地区大会1日目アンケートの件
 - ・・各BOXに入っています。
- 3、GSE フロリダチーム受け入れ要覧が事務局に届いています。



★ クラブフォーラム

- ◆国際交流について→韓国蔚山第一ロータリークラブ
 - ・文化の違う互いの国のロータリアンが交流を通じ理解を深め、世界平和に貢献する。また、発展的に青少年の交流事業などをすることにより互いの信頼関係を築く事を目的とする。
 - ・友好クラブよりスタートし、姉妹クラブになるよ

うに努力する

◆青少年交換プログラムについて

・第2770地区では、毎年約20名の青少年が世界各国に一年間の留学をすることにより、親善大使として活躍し、また、多くの友情を育む事により国境を越え世界平和に貢献しています。ロータリーとして最も素晴らしい事業の一つだと思えます。さいたま欖RCとして何かお手伝いしたいと考えております。

◆R財団・米山奨学金について

・年度の目標額が決まっておりますので皆様のご協力をお願い致します。

★ スマイルBOX

小池 智修会員

10月1日までもう後はない！！仕事の配分も決まったしやるしかありません。手作りの奉仕活動全員で頑張りましょう。当日楽しみにしています。

三上 等会員

いよいよ10月1日の「虫のオーケストラ」が近づいてきました。皆で力を合わせて成功したいと思えます。

秋本 昌治会員

私の自作自演の曲「ひとつ星」を作製いたしました。

井上 久雄会員

ボケーショナルガイド作成のため会員企業の事業内容等の確認をさせていただきたくFAXを送信させていただきました。まだ回答されていない方は至急回答方お願い致します。本日もよろしくお願い致します。

片山 金次郎会員

皆様こんにちは。今日は秋本さんの作詞・作曲の「ひとつ星」の歌を披露するそうです。どんな曲でどんな詞でしょうか？楽しみにしています。

城戸 正幸会員

長期天気予報で10月1日は、晴れのち曇り。予報どうりになることを祈ります。皆んなで「虫のオーケストラ」を成功させましょう。

本日例会の担当をさせていただきます。

国際交流青少年交換で皆様の意見をお聞かせ下さい。よろしくお願い致します。

田口 利道会員

「虫のオーケストラ」までカウントダウンとなりました。とにかく頑張りましょう。天高く株高い秋となりました。本日もよろしくお願い致します。

田中 修会員

米山奨学及びR財団月間がスタート致します。欖RCの目標額が決まっておりますので皆様のご協力をお願い致します。

野原 哲夫会員

小池年度の大イベント「虫のオーケストラ」を会員全員参加で成功させましょう。

★ スマイル BOX 集計

合計 : 11,000円 (10名)
累計 : 262,500円

★ 出席報告

月日	会員総数	出席	欠席	出席率
9/27	26	19	7	73.08%

《 他RCの活動報告 》

◆「砂場清掃」 大宮南西ロータリークラブ

「砂場」は幼児・子供たちの想像力を育てるすぐれた遊び場ですが、今この砂場に様々なゴミが混入しています。『砂場清掃により子供たちに安全な遊び場を提供しよう』という事業です。

9月29日に行われました。



【 砂場清掃機稼働中 】



【 ゴミはこんなにたくさん 】

☆☆ 人は星、人生は夜空 ☆☆

～ 人もいろいろ 人生もいろいろ 物語があります ～

ひとつ星の歌
秋本 昌治

一、やさしく咲いたゆりの花
乙女の花も人の世の
つめたい風に ほろほろと
ああ テレビでは今日もまた
選挙に励む凛々しさよ
ゆかしく匂う国の花

二、めざまし今日の選況を
新聞記事で読みながら
あなたを偲び 字がかすむ
ああ 感激のこの涙
御国のために身をとした
御身が何んで忘らりよか

三、夕べの空の果て遠く
かえらぬ夢を呼びながら
君の面影 いたきつつ
ああ 凱旋に声もない
その想いの数々も
はかない夢となりました



♪ 美声でご披露
いただきました
♪

虫

の

オ

ー

ケ

ス

ト

ラ



「虫のオーケストラ」を終えて・・・

社会奉仕委員長 城戸正幸

平成 17 年 10 月 1 日（土） さいたま新都心駅
コンコース・NTTドコモビル前広場において、さい
たま樺ロータリークラブ・社会奉仕委員会主催の「虫
のオーケストラ」（テーマ：虫たちの住める自然を！）
を、多くの会員の参加をいただき開催しました。

心配していた天候にも恵まれ、午前 10 時より会場
作りを開始し、午後 2 時に開催の運びとなりました。
ススキ、コスモス、萩などの野草を持ち込み爽やかな
草原の出現です。

イベントは

- ①パネル展示（虫の育て方、虫の鳴き方など）
- ②虫の音クイズ（テントの中で鳴いている虫の
名前を当てる。空クジなし）
- ③虫の音を聴く（くつわむし、すすむし、まつ
むし、などなど）
- ④虫の相談コーナー（虫の博士、くつわむしの
研究者・内田会員担当）
- ⑤コンサート生演奏（プロ演奏家）、紙芝居
など盛りだくさんの内容です。

イベントは大当たりで、さいたま新都心駅周辺は、
まさに「虫のオーケストラ」一色となりました。

おそろいの緑のパンダナを頭に巻き、緑のタスキを
掛けた会員（虫のお兄さん）は 1000 名を超える来
場者の対応に追われることになりました。

本部の大テントには、記帳台、ポリオと腎・アイバ
ンクの募金箱が置かれ、第 2770 地区のロータリア
ン、衆議院議員、一般の方などが記帳や寄付をして
くださいました。

このイベントの趣旨は、虫の音を聴く機会を設け、
子供達、親、高齢者を中心に自然とふれあう時間を設
け、さらに虫の種類や音、生態系、自然環境などの知
識を身につけてもらい、地域の人々の環境保全の取組
みのお役にたつことです。

秋の虫がみんなそろって元気に「虫のオーケスト」
を奏でる自然が戻ります。

『みんなへ

こんにちは。
ぼくたちは、こんな草木がおいしげったところが
大好きなんだ。

みんなのおうちの近くにもこんなところあるで
しょ？
でもね今、ぼくたちの仲間はずいぶん減ってきて
いるんだ。

それはね、新しい街づくり、農薬と除草剤の
使用など、みんなの生活をより良くするため
に、ぼくたちの大好きな自然が犠牲になって、
命タスキができなくなっちゃった。

みんな、ぼくたちのすめる自然をください。
今日は、みんなのために、ぼくたちが気持ちを
こめて歌うから自然を大切に、このすば
らしい地球で、ともに生活していこうね。

さあ！ 1. 2. 3. !!

虫たちより』

（パネル展示から引用）

自然と調和したゆったりとした時間の流れ
を楽しむ生活（スローライフ）に注目が集まっていま
す。

会員一丸となって取り組んだ環境保全への訴えが
新しい流れになればと願います。

末筆ながら、ご協力下さいました会員の皆様に、心
から感謝申し上げ報告といたします。



【力を合わせて 頑張ります！】